様式３

平成30年9月25日

平成30年度　結果の分析及び今後の改善策

（ 中間・最終 ）

広南中学校区　校番　２　学校名　呉市立広南中学校

重点	d 中期（3年間）経営目標	e 短期（1年間）経営目標	l 結果の分析（結果と課題をこう考えます）	m 今後の改善策（案）（こう改善します（案））
★★★	（貫）義務教育9年間を見通した学力を育成する	教師及び生徒の言語能力・ICT活用力の向上	1学期に生徒の実態を把握し，様々な研修や2学期に行われるタブレットの導入をふまえて研究授業を後半に計画しているために出た数値と考えられるが，実際は，全教職員がICTを活用したり，話型（つながり発言）を意識したりして授業を展開している。その結果，生徒の発表につながりを意識した発言が増えてきている。しかし，生徒の返事や発表の声の大きさが小さいことが課題である。	「話型」とICTを活用した研究授業の予定を研究推進委員会に報告することで計画を具体化し，確実に行うことができる体制を整える。また，授業観察者の評価シートを確認する時間を定期的にとり，授業展開に「話型」とICTの活用を意識的に取り入れる工夫を促す。また，生徒の返事や発言の際の声の大きさの指導も話型の実践と併せて行っていく。
		横断的・総合的なカリキュラムデザインおよび評価の工夫による学びの質の向上	教科及び総合的な学習の時間では，実社会から問いを導く挑戦問題を提示することや貫きカリキュラムの単元開発，各教科でのS問題やSルーブリックによる評価によって生徒の意欲と学びの質を向上させている。しかし，「課題解決のための情報収集」と「相手に分かりやすい発表の工夫」については，昨年度よりも減少している。さらに，読書習慣の3項目については，いずれも昨年度よりも減少している。	貫きカリキュラムをもとに，これまでの実践を継続していく。課題解決のための情報収集については，授業での図書室（情報センターとしての図書室の整備を含む）の活用や予習課題などの取組を進めていく。生徒に自分の考えを根拠をもとに説明する場を設定していく。
★★	礼節と挑戦心を身につけ，体力づくりに主体的に取組む生徒を育成する	生徒の相互指導能力の向上による学校の伝統文化の継承・発展	生徒会を中心に伝統の継承・発展に向けた取組は行っている。生徒アンケートの結果から1年生の意識が低い(73%)という傾向にある。これは入学して間もないことが原因と考えられる。	2学期以降に行われる行事等で，1年生は上級生の行動を見ながら，広南中の良さを理解し，広南中の生徒としてあるべき姿を時間をかけて理解していく。また，様々な経験をとおして実践していく。
		不登校・低学力等の課題への組織的な対応能力を磨く	「生活リズムを整えて生活している」についてのアンケートでは，77%が肯定的な回答をしているものの目標値の80%には達していない。原因としてはメディアに触れる時間の増加や家庭環境の多様化によって「早寝・早起き・朝ご飯」の確立が困難になっていると考えられる。	アンケートや日々の生活の中で，個別の指導支援が必要である。生徒に対しては,アメニティー環境推進委員会を中心に，教職員間で情報交換を行い，指導方針をもとに対応していく。また，保護者に対しては，アンケート結果や生活習慣に関して情報提供を行っていくとともに，引き続き必要に応じて組織的・継続的に連携を行う。
★	（貫）地域に貢献し活力を生み出す学校をつくる	地域の人材活用及び生徒の地域社会での活躍の場の充実	地域の方も積極的に教育活動に参画している。例えば，いじめ撲滅プロジェクトチームのメンバーとして活動したり，文化活動発表会の3年生による創作劇を企画する上で，地域の偉人に関する情報提供や地域の行事「扇子を用いた盆踊り」の指導に来て頂いたりした。 生徒においては，小中合同運動会で地域へ感謝の気持ちを伝えたり，広南寄席で落語を披露し喜んでもらったり，せとうち海援隊で三角浜の清掃活動をするなど，積極的に地域に貢献できる場を設けた。	今後も，地域の方の専門性を生かしながら，教育活動に関わっていただくことで，地域も学校もやりがいを持てる場を設定する。具体的には，総合的な学習の時間を中心に，地域の方とともに創作したり，喜んでもらう場を設ける。 1年生：落語で皆を笑顔にする地域貢献（ふれあいサロン，老人会等），2年生：起業企画で地域貢献（地域を題材にした商品，売り上げは社会貢献），3年生：創作劇で地域貢献，2・3年生：「匠の時間」で地域講師を招くなど。
		保護者の学校教育への参画の場つくり	「保護者はPTA活動などを通して教育活動への充実に努力している」というアンケート結果の肯定的評価が98%であった。評価が高かった原因として，今年度も保護者が出席しやすいようPTA総会・第1回参観日を休日開催としたことや，PTA役員を中心に運動会などの行事等で保護者が楽しめる工夫をしたこと，中学生による小学校への絵本の読み聞かせ活動の企画，部活動の外部コーチによる指導などが考えられる。また，PTA会長自ら，「生き方」について中学生対象に講演を行った。	今後は，文化活動発表会における物品・食品バザー，第3回参観日（休日開催）におけるPTCレクの企画，PTA新聞による広報などにより，保護者が，直接，生徒や教職員と関わる場を設定する。また，学校においても，各種たよりを定期的に発行しながら，保護者の活動の様子も発信していく。